

# BIG KNOB

## PASSIVE

Monitor Controller

日本語オーナーズマニュアル



# 安全の為に

この製品を設置、使用される前に必ずお読みください。

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

本書で使用する記号について

	「必ず守ってください」という強制を表しています。		「絶対にしないでください」という禁止を表しています。
---	--------------------------	---	----------------------------

 **警告** この記号は取り扱いを誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



## 本書を全て読むこと

この製品を設置、使用する前に必ず本書を全てよく読み内容に従ってください。



## 水分をかけたり湿気にさらさないこと

この製品の上に花瓶や飲み物など、液体が入ったものを置かないでください。また、この製品を雨や霧にさらさないでください。感電や火災、故障の原因になります。



## 接続ケーブルは安全に配置すること

接続ケーブルをストーブの近くなど高温になる場所に設置しないでください。また踏んだり物に挟んだり、無理な配線を行うと、接続ケーブルが損傷して火災の原因になる場合があります。また足など体の一部を引っ掛けるような場所に配置しないでください。負傷の原因になる場合があります。



## 本体を落下しないこと

本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。



## 異臭や異常を感じたら修理を依頼すること

正常に機能しない、接続ケーブルやプラグに異常がある等の場合は、修理をお申し付けください。



## 大音量で使用しないこと

この製品をアンプやスピーカーなど他の機器と組み合わせて、大音量を再生しないでください。一時的または恒常的な難聴や、スピーカーなど接続している機器が故障する原因になる場合があります。



## 移動するときはケーブルを全て抜くこと

接続ケーブルを接続したまま本体を移動しないでください。ケーブルを痛めたり、周囲の方が転倒する原因になります。



## 本体内部に液体や物をいれないこと

火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼ください。



## 改造を行わないこと

決して製品内部を開いたり、ユニットパネルを動かしたり、その他マニュアルに記載されていない調整を行わないでください。これらの行為は感電やその他災害に繋がる可能性があります。また、あなたの製品にも損害を与える可能性があります。製品内部を開くと、保証対象外となりますのでご注意ください。



## 注意

この記号は取扱を誤ると負傷、機器の損傷や物的損害の原因になる可能性がある内容に付いています。



## 裸火を近づけたり熱源の近くに設置しないこと

この製品に直射日光を当てたり、ストーブなど熱源になるものの近くに置かないでください。本体が故障する原因になります。



## ボタンやスイッチ、入出力端子に無理な力を加えないこと

本体の故障やお使いになる方が怪我をする原因になります。

## 修理

- 日本仕様の Mackie 製品の修理は、音響特機株式会社または提携サービスセンターで行っています。Mackie 製品の修理やメンテナンスが必要な場合は、次の手順に従ってください。
- 本書でご紹介しているトラブルシューティングの内容を確認してください。
- テクニカルサポートに電話、もしくは support\_mackie@otk.co.jp にメールをし、「メンテナンス申込書」を請求してください。「メンテナンス申込書」に必要事項をご記入の上、04-2944-3812 へ FAX してください。折り返し RA 番号と送付先のサービスセンターが記載された修理受付表を FAX で返送致します。RA 番号はサービスセンターへ送付される前に必ず取得してください。
- オーナーズマニュアルとケーブル類は同梱しないでください。修理には必要ありません。
- 本体を梱包材とともに製品パッケージに入れて、サービスセンターへ送付してください。当社では輸送上のダメージを保証することができません。
- 必ず、RA 番号が記載された修理受付表のコピーを同梱してください。また送り状の通信欄にも、RA 番号と商品名、製造番号を記載してください。RA 番号のない修理品は受付することができません。

## 保証

- 本機の保証はご購入後 1 年間となっております。
- 正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証規定から除外されておりますので、予めご了承ください。
- お客様による輸送、移動中の落下、衝撃など、お客様のお取り扱いが適正ではなかったために故障が生じた場合
- お客様のご使用上の誤り、不適正な改造、弊社の認可のない改造及び修理が行われている場合
- 火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因によって故障が生じた場合
- 本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障、損傷
- 正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- 日本国外でご使用中の故障、損害

すべてのサポート・修理に関する情報は下記 Mackie 日本語ホームページをご参照ください。

[mackie-jp.com/support](http://mackie-jp.com/support)

## サポートセンター

〒 359-0023 埼玉県所沢市東所沢 2-37-1

塚腰運送敷地内

 04-2944-3811

 04-2944-3812

 support\_mackie@otk.co.jp

営業日 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

### 営業窓口

東京 東京都中央区日本橋小伝馬町 10-1

 03-3639-7800 (代表)

 03-3639-7801

大阪 大阪府大阪市淀川区宮原 2-14-4

 06-6152-7751

 06-6152-7752

名古屋 愛知県名古屋市中区泉 1-23-30

 052-950-3324

 052-950-3325

広島 広島県広島市中区富士見町 16-22-604

 082-258-2916

 082-2582917

福岡 福岡県福岡市南区大橋 4-16-18-201

 092-554-6066

 092-554-6064

仙台 宮城県名取市杜せきのした 2-2-16-101

 022-797-5281

 022-797-5282

営業日 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

ご質問は電子メールでも承ります。

 sales\_mackie@otk.co.jp

## Contents

### Big Knob Passive の特徴 4

#### はじめに 4

#### クイックスタート 4

#### 接続図 5

#### リアパネルの機能 6

1. フォン入力端子 (1/4 インチ) 6
2. ステレオミニフォン入力端子 (1/8 インチ) 6
3. フォンモニター出力端子 (1/4 インチ) 6

#### フロントパネルの機能 7

4. Source Select スイッチ 7
5. Monitor Select スイッチ 7
6. Mono スイッチ 7
7. Mute スイッチ 7
8. Dim スイッチ 7
9. 大きなボリュームノブ [通称 Big Knob] 7

#### 付録 A : サービスについて 8

#### 付録 B : 技術情報 9

- |                             |    |
|-----------------------------|----|
| Big Knob Passive 仕様書        | 9  |
| Big Knob Passive 寸法         | 10 |
| Big Knob Passive ブロックダイヤグラム | 11 |

## Big Knob Passive の特徴

- ・ とてもシンプルな 2 × 2 モニターコントローラー
  - ・ ステレオ 2 系統の音源と、ステレオ 2 系統のモニタースピーカーから選択
  - ・ 初代 Big Knob のボリュームコントロールを継承
  - ・ プロ仕様のモノ、ミュート、DIM スイッチ
- ・ 原音に忠実なサウンド
  - ・ 電源が不要なパッシブ音声回路
- ・ “戦車級に頑丈な” ボディーデザイン

## はじめに

Big Knob Passive はプロ仕様のコントロールを提供するベストセラーデザインを継承し、あらゆる規模のスタジオのソースとモニターを選択を可能にします。

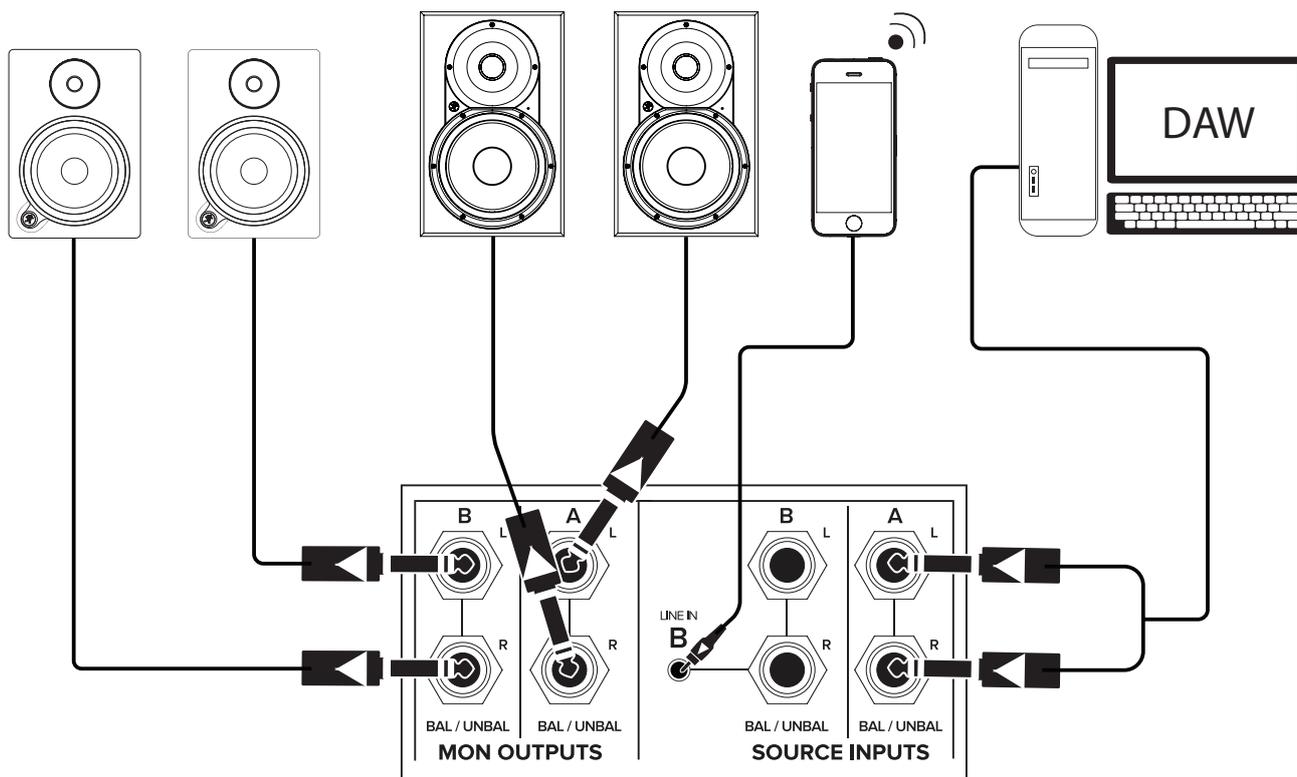
パッシブ音声回路は信号全体において原音に忠実なサウンドを送ります。ボリュームコントロールだけでなく、2つのソースと2つのモニタースピーカーを選択できる機能も搭載しています。

宅録やプロジェクトスタジオなどのシンプルなボリュームコントロール用途から規模の大きいスタジオまで、広範囲のニーズに対応することができます。

## クイックスタート

すぐにでも Big Knob Passive を箱から取り出し、試してみたいところですが、このページだけは読んでください。その他のページは必要になった時で構いません。

1. 全てのノブを最低まで下げてください。
2. 全てのスイッチをオフにしてください。
3. Big Knob Passive の SOURCE INPUTS に以下の機器に接続します。:
  - ・ オーディオインターフェース
  - ・ キーボード、ドラムマシン、MP3 プレイヤー等のラインレベルソース
  - ・ その他のステレオ再生機器
4. ケーブルを使用し MONITOR OUTPUTS からパワードスピーカー（もしくはパッシブスピーカーに接続されているパワーアンプ）へ接続してください。
5. スタジオモニター（もしくはアンプ）の電源を入れてください。
6. SOURCE INPUTS に接続した機器のボリュームは、通常使用する際と同じにしてください。
7. 希望の SOURCE SELECT と MONITOR SELECT を各スイッチにより選択してください。
8. 快適なリスニングレベルになるまで、ゆっくりとボリュームノブを回してください。



Big Knob Passive は、宅録 / プロジェクトスタジオのレベルコントロールや、より大きなスタジオの一部のコントロールとして統合された完璧なツールです。様々な特長がありますが、電源がなくても駆動するという機能は最も特筆すべき点です。従来のコントローラーとは違い、これにより場所を選ばずに設置することができます。設置場所を決めたら、ケーブルを接続してみましょう。

この例では、愛用している DAW がインストールされているコンピューターのアナログ音声出力を、Big Knob Passive の Source Inputs A - L/R 端子に接続しています。Source Input B の端子はフォン端子だけでなく、ステレオミニフォン端子の入力にも対応しています。両方の端子にソースが接続されている場合、1/4 インチ端子よりも 1/8 インチ端子の信号が優先されます。この例では、スマートフォンを出力をステレオミニフォン端子に接続しています。

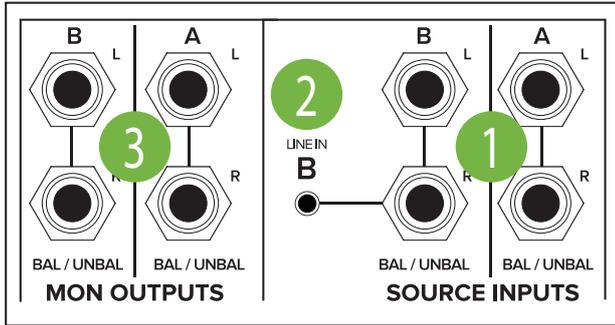
出力セクションも、入力セクションと同様にわかりやすくなっています。ここでは XR スタジオモニターシリーズのペアを Mon Output A - L/R 端子に接続し、MRmk3 スタジオモニターシリーズのペアを Mon Output B - L/R 端子に接続しています。

これで接続は完了です。お好きなように楽しんでください。トップパネルには様々なスイッチやボタンがありますが、これらは何に使用するのでしょしょうか。言わずもがな、センターには、大きなシルバーのボリュームノブ、BIG ノブが配置されています。これらのスイッチ、ボタンやボリュームで、入出力やボリュームなどをコントロールすることができます。次のページより、Big Knob Passive のそれぞれの機能を説明していきます。

### Typical Big Knob Passive Setup

## リアパネルの機能

リアパネルは様々な機器を Big Knob Passive と接続する部分です。機器の信号は Big Knob Passive によりルーティングされ、MON OUTPUTS 端子から出力されます。



### 1. フォン入力端子 (1/4 インチ)

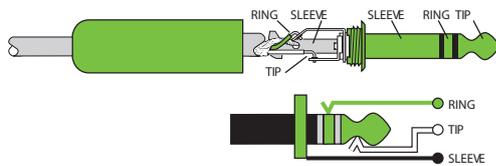
音源からの L/R ステレオラインレベルの信号をこれらの端子に接続します。

- ・ソースの入力コネクタは、バランスまたはアンバランスの信号を受けることができます。
- ・TRS 端子には、アンバランス TS (チップ - スリーブ) ケーブルを接続することができます。プラグの形状が TS タイプ (ギタープラグに似た形状) なのか、TRS タイプ (ヘッドホンプラグに似た形状) でリングがスリーブに接続されているかを確認してください。また、プラグがジャックに奥までしっかりとさしこまれているかを確認してください。

配線は以下のようになっています。これは AES(Audio Engineering Society) が定めたものです。:

#### バランス TRS フォン (1/4 インチ)

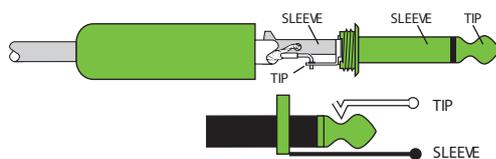
ホット (+)	チップ
コールド (-)	リング
シールド (グラウンド)	スリーブ



バランス TRS フォン (1/4 インチ)

#### アンバランスフォン (1/4 インチ)

ホット (+)	チップ
シールド (グラウンド)	スリーブ



アンバランスフォン (1/4 インチ)

### 2. ステレオミニフォン入力端子 (1/8 インチ)

ステレオミニフォン入力は、スマートフォン、MP3 プレイヤー、などの音源からラインレベルの信号を受けることができます。



Source Input B は 1/4 インチと 1/8 インチの両入力を同時に接続することができます。両方の端子にソースが接続されている場合、1/4 インチ端子よりも 1/8 インチ端子の信号が優先されます。

### 3. フォンモニター出力端子 (1/4 インチ)

パワードスタジオモニターや、パッシブスピーカーを再生するためのパワーアンプの入力端子と、この端子を接続します。

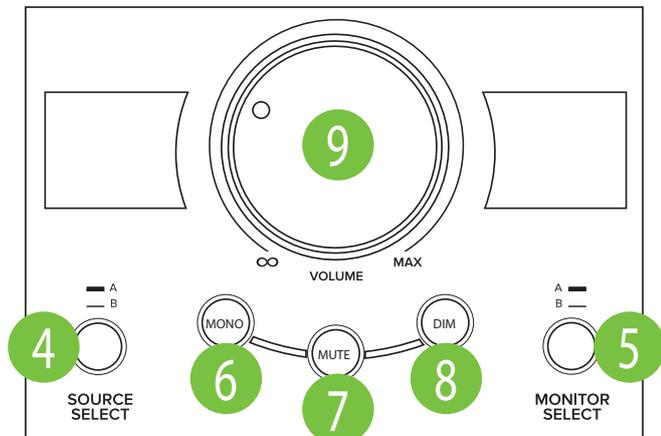
MON OUTPUTS は「コントロールルームバス」より供給されます。これは現在 SOURCE SELECT ボタンで選択されている音源から供給され、ボリュームノブの調整が加わった信号です。

- ・MON OUTPUTS 端子は、バランスまたはアンバランスの信号を出力することができます。
- ・TRS 端子には、アンバランス TS (チップ - スリーブ) ケーブルを接続することができます。プラグの形状が TS タイプ (ギタープラグに似た形状) なのか、TRS タイプ (ヘッドホンプラグに似た形状) でリングがスリーブに接続されているかを確認してください。また、プラグがジャックに奥までしっかりとさしこまれているかを確認してください。

左の図のように、コネクタが AES/IEC 基準に準拠していることを確認してください。

## フロントパネルの機能

フロントパネルではあなたの好きなようにコントロールを行うことができます。リアパネルでの接続が一通り終わったら、フロントパネル上のスイッチやノブを確認しましょう。それでは詳細に移ります。



### 4. Source Select スイッチ

ソースの入力を切り替えることができます。スイッチを何も押していない状態だと SOURCE INPUTS の A に接続した音源が選択され、スイッチを押し込むことで SOURCE INPUTS の B に接続した音源を選択することができます。

### 5. Monitor Select スイッチ

モニターの出力を切り替えることができます。スイッチを何も押していない状態だと、MON OUTPUTS の A に接続されているモニターが有効になります。スイッチを押し込むことで、MON OUTPUTS の B に接続されているモニターが有効になります。

### 6. Mono スイッチ

Big Knob Passive の Mono スイッチとプラスチック消しゴムはまったく関係がございません。Mono と聞いて机のうえにある定番プラスチック消しゴムを思い浮かべた方もいらっしゃるでしょう。Mackie Big Knob Passive の Mono スイッチを押したとしてもこのマニュアルの文章や大切な録音データなど、何も消えることはありませんのでご安心下さい。Big Knob Passive で使われている Mono はステレオの反意語、モノラルという意味です。

Mono スイッチを押すことで、ステレオの入力信号を単一のモノラル信号に変換し、出力することができます。L/R の入力信号が組み合わさり、L/R の出力からモノラルにて出力されます。これによりモノラルシステムで再生した際の、ステレオ信号の位相チェックを行うことができます。

### 7. Mute スイッチ

Mute スイッチは、その名前の通りの役割を果たします。スイッチを押すことで、信号をミュートすることができます。Mute スイッチを押すと、ボリュームノブを最低まで回しきった状態と同じ結果を得ることができます。

### 8. Dim スイッチ

このスイッチを押すことで、出力される信号を 20 dB 下げることができます。これによりスピーカーのボリュームを下げることなく、スピーカーからの出力レベルを本質的に下げることができます。

### 9. 大きなボリュームノブ [通称 Big Knob]

最後にして最大の目玉を紹介します。大きなボリュームノブ - 通称 Big Knob - は、SOURCE SELECT で選択した入力ソースの信号レベルを調整することができます。ボリュームノブの可動範囲はオフ (∞) からユニティゲイン (MAX) までです。



注意: 接続をしたり機器の変更をする際は、必ずボリュームをオフまで下げようしてください。機器が問題なく接続されていることを確認したら、ゆっくりとボリュームを上げてください。これによりスピーカーだけでなく、あなたの大切な耳も保護することができます。

## 付録 A：サービスについて

Big Knob Passive に問題が発生した場合は、下記の「トラブルシューティング」を参照して問題点をご確認ください。弊社ウェブサイトのサポートセクションをご覧ください。(http://mackie-jp.com/support) 下記の内容に沿って状況を確認しても問題が解決しない場合、または明らかに製品が故障している場合は、ただちに使用を中止してこの製品をお求めの販売代理店まで修理をご依頼ください。

### トラブルシューティング

#### 電源が入らない

- 私たちの大好きな質問です。電源コードは接続されていますか？もしこの質問に「はい」と答えた場合、あなたは大きな勘違いをしていることでしょう。Big Knob Passive に電源は必要ありませんからね。

#### 音が出ない

- 音源の音量は上がっていますか？接続されている機器の信号レベルが十分に上がっているか確認してください。
- Big Knob Passive のボリュームノブは上がっていますか？
- Source Select スイッチと Monitor Select スイッチは正しく設定されていますか？
- Mute スイッチが有効になっていませんか？

#### 音が良くない

- ジャックは入出力端子に最後までしっかり挿し込まれていますか？完全に接続されていることを改めて確認して下さい。
- 音量が大きくて歪んでいますか？ソースが適切なレベルに調整されているか確認してください。

#### ノイズ/ハム/バズ

- ソースと Big Knob Passive の接続に使用されているケーブルを確認してください。全ての接続に問題はありませんか？ケーブルがしっかり接続されていないとノイズの原因になる場合があります。
- 信号ケーブルを電源コードや電源トランスなど電磁干渉を発生するものの近くに設置しないで下さい。これらはしばしばノイズの原因となることがあります。
- ヒスノイズが発生している場合、Big Knob Passive へ入力される前の段階でゲイン設定が適切に行われていない可能性があります。
- 可能であれば、Big Knob Passive に接続されている音源に直接ヘッドフォンを挿して音を確認してください。そこでノイズが確認できた場合、原因は Big Knob ではありません。

ご不明な点は…

- mackie-jp.com にアクセスしてサポートの項目をご覧ください。
- support\_mackie@otk.co.jp までメールをお寄せください。
- テクニカルサポートセンターにお電話ください。
- 日本語：04-2944-3811（月～金曜、9am～6pm）
- 英語：1-800-898-3211（月～金曜、営業時間 PST）

## 付録 B：技術情報

### Big Knob Passive 仕様書

#### 周波数特性

0 dBu Input:  $\pm 1$  dB, 10 Hz - 30 kHz

#### 歪率 (THD+N)

0 dBu Input @ 1 kHz: <0.005%

#### クロストーク (20 Hz - 20 kHz)

0 dBu Input @ 1 kHz: <-85 dB

#### ミュートスイッチ

ミュート時 -100 dB

#### SN 比

A-weighted: <-100 dB

#### 最大入力レベル

全入力: +22 dBu  
ステレオミニフォン入力: +15 dBu

#### 入力タイプ

入力タイプ: バランス / アンバランスフォンメス  
ステレオミニフォンメス

#### 出力タイプ

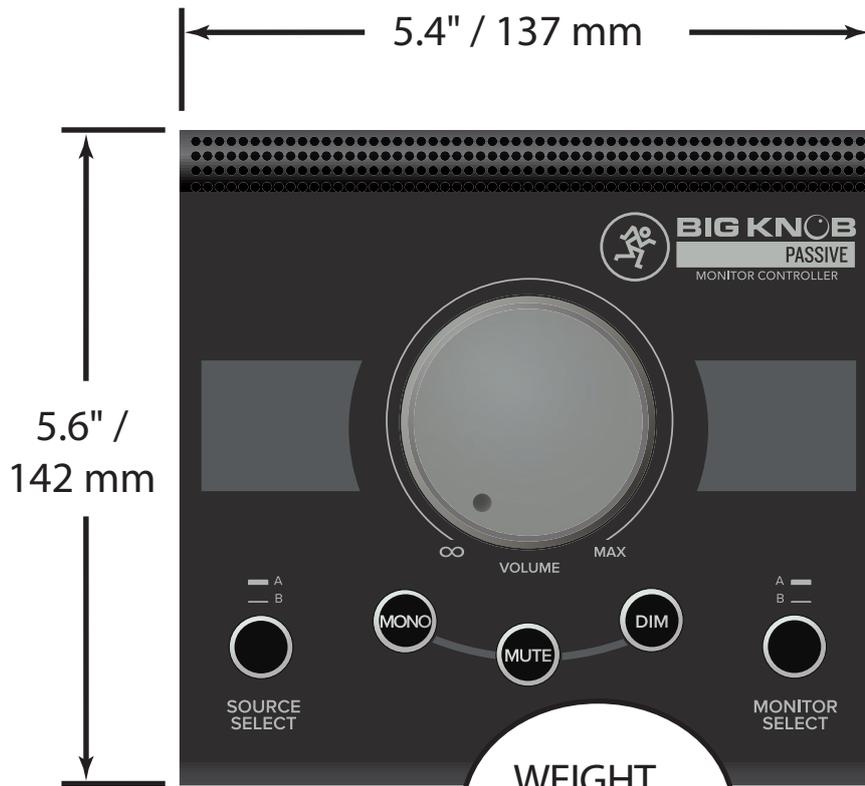
出力タイプ: バランス / アンバランスフォンメス

#### 寸法・重量

高さ: 79 mm  
横幅: 137 mm  
奥行き: 142 mm  
重量: 1.0 kg

LOUD Technologies 社は、常に新しい素材、部品、製造方法を取り入れて製品を改善するよう努めているため、製品の外観および仕様は予告なく変更することがあります。

「ランニングマン」、「Running Man」は LOUD Technologies 社の登録商標です。他の商品名または会社名は各社の商標または登録商標です。



WEIGHT  
2.2 lb /  
1.0 kg

